

各 関 係 大 学 長
各 関 係 大 学 学 部 長 殿
各 関 係 機 関 の 長

国立感染症研究所長

ウイルス第二部長の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度当所ではウイルス第二部長の選考を行うことになりました。

ウイルス第二部においては、腸管感染ウイルス、腫瘍ウイルス及び肝炎ウイルスに起因する感染症（ヒト免疫不全ウイルスその他のレトロウイルスに係るものを除く。）に関し、次に掲げる事務をつかさどっています。

①病原及び病因の検索並びに予防及び治療の方法の研究（これらに関するレファレンス業務を含む。）及び講習を行うこと。

②予防、治療及び診断に関する生物学的製剤の生物学的検査、検定及び試験的製造並びにこれらの医薬品の生物学的検査及び検定に必要な標準品の製造並びにこれらに必要な科学的調査及び研究を行うこと（他部の所掌に属するものを除く。）。

特に当部では国内の肝炎対策に関わる種々の問題についての対応が強く求められます。また、ポリオ対策などに関する国際協力、所掌する生物製剤の品質管理への対応も強く求められます。

つきましては、貴学（学部、機関）、貴所または関係機関におきまして適任者がおられましたら、下記によりご応募賜りますよう周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 候補者資格条件

- ①上記の所掌対象のウイルス等に関し、豊富な研究実績と経験、幅広い知識を有し、高い見識を有すること。
- ②上記所掌に関する生物学的製剤の品質管理に意欲を有すること。
- ③部をまとめる資質を有すること。
- ④国際国際協力を推進する能力を有すること。
- ⑤学位（博士号）を有すること。医師であることが望ましい。

2. 提出書類

- ①履歴書（A4版縦横書き、氏名、性別、生年月日、本籍（都道府県名）、現住所、学歴（高等学校卒業以降）、学位、職歴、1カ月以上の海外歴とその内容、所属学会名、学会等での役職名、賞罰、健康状況等。）
- ②業績目録（A4版縦横書き、別紙様式をご参考下さい。）
- ③主要論文の別刷（写し可）10編以内
- ④主要研究概要（1200字程度）

3. 応募締切日 平成29年5月15日 必着

4. 選考採用試験

(1) 書類選考 平成29年6月下旬(予定)

(2) 面接 平成29年7月上旬～末頃(予定)

(面接に際し、プレゼンテーションをお願いする場合があります。)

5. 採用予定日 平成29年10月1日(予定)

6. 書類提出先

郵便番号 162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1

国立感染症研究所長 倉根 一郎

応募書類の封筒には「ウイルス第二部長応募」と朱書の上、
所長宛親展とし、書留で郵送して下さい。

なお、提出された書類は返送致しません。

7. 問い合わせ先

国立感染症研究所 総務部総務課人事係 斎藤・寺本

電話：03-5285-1111(代表) 内線2024

E-mail: jinji@nih.go.jp

業績目録

氏名 _____

1. 著書

2. 学術論文(学会誌発表等)

(1) 欧文

(2) 邦文

3. 学会発表(講演・発表等)

(記入上の注意事項(共通))

1. 上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名(発表雑誌名)の順で記載し、それぞれを改行すること。
2. 年代の新しいものから順に記載すること。
3. 発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
(例: Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002)
4. 欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に()書で和訳を記載すること。
5. 各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。(単独は(単)、筆頭は(筆)、その他は(他))
6. 著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
7. 長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

(参考例)

1. 著書

- ①労働太郎、厚生太郎
(他炎症の組織病態
〇〇社, PP.67-87, 1989

2. 学術論文

(1) 欧文

- ①Taro kousei, Jiro Kousei, Saburou Kousei, Tarou Roudou, Jiro Roudou, Saburou Roudou
(筆)An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in USA, 2002
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2002年アメリカ)
Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

(2) 邦文

- ①厚生太郎、厚生二郎、厚生三郎、労働太郎、労働二郎、労働三郎
(筆)An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2004大阪)
Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

3. 学会発表

- ①厚生太郎
(単)ラット皮下腫瘍の消長と〇〇〇の相互関係について
第25回日本病理学会総会, 東京, 1989

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

- ①厚生労働省、〇〇(課題名)
期間:平成〇〇年～平成△△年、金額〇〇〇円/年

- ②科学研究費補助金、(課題名)□□□□□
期間:平成〇〇年～平成△△年、金額〇〇〇円/年